

# 第2次黒部総合振興計画審議会

## 第3回第6部会【協働・行財政】

### 議事概要

日時：平成29年7月3日（月）14:00～

場所：黒部市役所 203 会議室

出席者：委員6名（欠席1名）、専門委員1名（欠席なし）

幹事5名（欠席なし）、計画主任9名（欠席なし）、事務局4名

#### 次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
  - （1）前回審議会以降の経過について
  - （2）各委員からの意見・提言について
4. 協議事項
  - （1）施策区分別の個別事業について
  - （2）各個別事業の協働体制、市民等へのメッセージ、主な指標と目標値について
5. その他
6. 閉会

### 主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

#### 部会長あいさつ

○部会長：本日はご多用中にも関わらず、第3回部会にご出席いただき感謝申し上げます。  
本日の部会は平成29年度の最初の部会である。昨年度は、基本構想を中心に審議してきたが、本年度は前期基本計画の策定に向けての審議であり、計3回の部会を開催しながら策定していきたい。黒部市の未来の創造に向けて、各委員の意見をいただきたい。

## 報告事項

(資料1：前回審議会以降の経過について、  
資料2：各委員からの意見・提言について、事務局より説明)

- A委員：資料2の施策区分の意見については、どの部会で検討することになるのか。
- 事務局：②の農林水産業の振興については、今回提示させていただいたのは、前回の審議会が出た意見は①で、それ以降に委員の方からいただいた意見は②で整理させていただいており、各部会に同じ内容を報告させていただいている。
- A委員：②の1, 2, 3の意見について、それぞれどの部会で取り扱うことになるのかを聞きたい。
- 事務局：部会で言えば、1は第3部会、2は第2部会、3はどこの部会にも該当しないと考えられる。本部会に関連するものはないと考えている。

## 協議事項

(資料3：施策区分別の個別事業について、事務局より説明)

- B委員：6-3 人権擁護体制の整備の、人権相談体制の整備については、人権問題に関する他市の関連部局・団体との連携について、この文章で読めるのかが気になる。現在、黒部市では人権擁護委員が8名と非常に少ない状況であり、特に人権活動は他団体と連携しないと取り組みが広がらない。それぞれが勝手にやっている状態は問題である。この文章で表現しきれぬのか。
- 市民環境課長：国からの指針を受けて人権擁護の推進をしていただいているが、活動に際しては市民環境課が窓口となるが、相談内容全てを人権擁護団体にお知らせすることは難しい。ただ、なるべく人権擁護委員の活動が容易となるお手伝いを進めていきたい。
- 事務局：事業概要については、他の委員にとって分かりやすいように今後10年間の方向性を例示しているだけであり、個別の内容については、具体的に実現していくための予算要求などで進めていくものである。
- A委員：事業概要だけにスポットを当てているが、B委員の意見は「人権擁護委員」は「人」であり、委員会として市や県と連携していくことが必要ということではないか。個別の表現はあまり気にしないで欲しいとの事務局の意見だが、「民間専門相談員」との表現も別にあり、表現に関する検討もしてはどうか。
- C委員：総合計画は10年間を対象とし、うち前期基本計画は5年、その中で第6部会での新規事業は2件のみであり、他は全て継続業務である。第1次計画からあまり大きな変化が期待できないようにみえるが、どう考えるか。

- 事務局：確かに少し寂しいという意見もあるかと思うが、10年を見据えつつ、向こう5年を対象としてもらいたい。今回、新規が2つとなったのは、大きな策定の柱として、財政見通しの範囲内で、実効性に配慮した計画とすることが黒部市の柱であるため、結果として2件となったことをご理解いただきたい。逆に新規事業については、委員からご意見をいただければと思う。事業リストはあくまでも現段階のものであり、庁内でも今後さらに検討を進めていく予定である。今後は追加や削除される事業であるということをご理解いただき、ご意見をいただきたい。
- C委員：後期も黒丸がついているが、基本計画は前期の5年だったのではないのか。
- 事務局：あくまで前期にやる事業に関してご議論いただきたい。
- D委員：新規は2件とのことだが、第1次総合振興計画から無くなった事業はあるのか。
- 事務局：第6部会で言えば、人権が大事であるという意見を踏まえ、これまで人権尊重と男女共同参画を1つにしていた施策中分類を、人権に関して厚くした経緯がある。また、第3部会の都市基盤の情報通信整備を第6部会扱いとした、計画的行政運営の推進について、公共施設の適正配置については新たな視点として入れている。後は継続業務が多い。
- A委員：事業実施期間の黒丸がついていないのが6-2のコミュニティセンター助成事業くらいで、他はほとんどの年次に黒丸が入っておりメリハリが無いように見えてしまう。
- 事務局：コミュニティセンター助成事業については、H30と32年に丸がついているが、方向性の見通しが明確となっている年次に丸をつけている。
- A委員：他の事業についても、10年間全てに黒丸をつけるのではなく、実施年次を見通せないのか。
- 事務局：全てに丸がつかない事業は、ハード的なものになろうかと思う。ソフト事業はずっと継続するものが多いと考えられる。
- C委員：基本計画で10年をイメージしているが、前期計画で後期に全て丸をつけるのはいかがなものか。空欄とすべきではないか。  
また、一覧表だけみても、どれだけの予算規模で実施するのが見えない。重点項目に6つ丸がついているが、せめて重点項目については、新規事業を盛り込み、前期基本計画の特徴や意思を見せる必要があるのではないか。
- 事務局：後期基本計画を空欄とするのは、総合計画（基本構想）は10年のスタンスなので、基本計画の見せ方の中で、行政サービスの一貫性という意味では、前期計画から後期計画に移る際に、再度見直すという意味合いと考えていただきたい。
- 事務局：また、「重点」に丸が付いているのは、24のメニューの中でも重点的に取り組むものであり、そのメニューに対する行政の活動を重点化するというものであり、新規事業があるから重点化するという訳ではない。
- A委員：黒丸について、再精査していただきたい。ハードは目途が立ちやすいから白

抜きとなることが多いとのことだが、全て黒丸とするのが良いのか、精査した方がよい。中には、ハード整備にもかかわらず10年間全て黒丸となっている事業も多いように思われる。

- 総務企画部長：今回、10年間の財政見直しから事業をリストアップしたが、今後、議会や委員の方と調整し、一般財源とできるものを整理しており、途中段階のものである。黒丸は一般の方に公開するものではないと理解いただきたい。今の段階では原課の思いとして、毎年進めていきたいという意味で全て丸を付けている状態である。中には後期にズレこむ事業もあると考えられる。
- 事務局：コミュニティセンター助成事業については、ハードに丸が入っていないとのことだが記載したい。
- A委員：実内容や実施期間についての精査をしていただきたい。ハードに丸がある、ないという意見ではない。
- C委員：6-3の「2男女共同参画推進体制の充実」に、固有名詞である「くろべ女性団体連絡協議会」が入っている。この表現だと、同団体以外の新たな団体は認めず、特定の団体に投資し続けるのかという議論になってしまう可能性があるため、固有名詞の使用は避けた方がよい。

(資料4：各個別事業の協働体制、市民等へのメッセージ、主な指標と目標値について、事務局より説明)

- E委員：事業メニュー2「交流人口、定住・半定住人口の拡大」の内容と目標値が一致しているように見えないが意味があるのか。
- 事務局：目標値は施策中分類の達成度を図るために設定しており、事業メニュー毎に目標値を設定している訳ではない。
- E委員：効果を検証するためには、個別事業ごとに目標値を設定するべきではないのか。
- 事務局：総合振興計画については、目標値は、計画の取組全体としての判断をするものだという理解をいただきたい。
- C委員：事業毎に目標設定をするという意見もあるが、個別事業毎に実施できないのであれば、事業メニュー毎に数値目標を提示すべきではないのか。また、目標値は年単独なのか、その時点での累計値なのかが分からない。
- 事務局：体験施設の利用者数については、単年での値である。
- C委員：単年では、推移が分からないのではないか。また、空き家バンクは5年でたった1件の増加でよいのか。
- 事務局：数値は毎年把握し、公表していく予定であるため、推移は把握できる。
- D委員：指標は、これ以外にも設定するのか。
- 事務局：現段階で想定しているのはこれだけであるが、部会で他に意見があれば反映

したい。

- D委員：結婚相談窓口に関する内容など、想定は難しいものも多いかもしれないが、指標をなるべく多く提示するべきではないか。
- D委員：指標は5年後の状態を示しているので、累計でなくてもよいのでは。ただ、あまり目標値の伸びが少ないものしか提示できない指標ならば、採用しない方がよいのではないか。
- B委員：空家情報バンクは本当に必要なのか。もっと定住に直結する指標とするべきではないか。
- A委員：ソフト項目については、維持することに意味があるのならば、目標指標についても維持することを目標としているように見える。
- D委員：指標の伸びが少ないものは、ほぼ現状維持を目指すという意味という理解をすればよい。
- B委員：6-3の組織名については、他の資料の名称と統一すべき。
- A委員：メッセージはどのような形で発信する予定なのか。特に6-6のメッセージ「市民と行政が一体となって計画的・効率的な行政運営を進めましょう」について、市民は行政運営をできるのか。他の表現とすべきでは。
- 事務局：次回までに検討したい。
- B委員：6-4の「職員出前講座を活用し、市民生活を豊かにしましょう」について、どう理解すればよいのか。
- C委員：メッセージに関しては、市民がどう受け止めるのか、表現を再考いただきたい。
- C委員：資料4の6-1の事業メニューは5つだが、資料3では6つとなっている。1項目抜けているのでは。
- 事務局：資料4では2つあった「北海道根室市との姉妹都市交流」を1つにまとめているためである。
- C委員：元号が変わることについてはどうするのか。
- 事務局：現時点での元号を使わざるを得ない。西暦併記も考えたいが、レイアウト上の問題もある。

(次回の部会について、事務局より説明)

- 部会長：全体を通して意見等はあるか。
- A委員：資料3の8ページ、戦略Kとは何か。
- 事務局：黒部市総合戦略の通称である。

## 閉会

- 事務局：以上をもって、第6回部会を閉会する。第4回審議会部会は、8月1日(火)

14:00 から開催する。

以上